



教育目標

「自学、信愛、努力を基本とし、人間らしい生き方を求める生徒を育てる」

# NANBU



学校だより第4号

水見市立南部中学校

令和2年8月3日

## 3年生から後輩へ

校長 扇谷 孝代

8月に入りました。例年ですと、今はまさに夏休みの真っ最中ですが、そして、今年は本来ならば東京オリンピックの開催の年で、ちょうど今頃は日本中が大騒ぎだったことでしょう。

新型コロナウイルスによる感染症の拡大は、当然我々が迎えるはずであった未来を大きく変えてしまいました。学校生活も例外ではありません。

4月初旬からの約1か月半に及んだ臨時休校中、市体陸上や地区選手権大会等、特に3年生にとっては中学校での部活動の集大成とも言える諸大会やコンクールが中止となりました。また、修学旅行や「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」等、2学期以降に実施することになっていた大きな行事も次々と中止が決まっています。

学校での学びの大半は、授業によるものであることは間違いありませんが、こうした学校行事、部活動等での学びも、子供たちにとっては大きな意味があります。一つ一つの経験を通して、それぞれの学年にふさわしい顔になっていくのです。

一番心配だったのは、3年生でした。

現在の3年生は、3月末からの臨時休校により、昨年度の卒業式に出席できませんでした。これまでの3年生は、2年生の終わりに先輩たちの卒業式の準備をすることで、そして自分たちがつくった会場で巣立っていく卒業生の姿を目の当たりにすることで、最高学年への決意を高めていました。その部分がすっぽり抜けてしまったのです。また、今年度の入学式の準備もまともにできませんでした。出席して、新入生を直接迎えることもできませんでした。かろうじて、入学式の片付けができたくらいです。さらに、「さあ、今から！」と思ったところで、再び長期間の休校です。正直のところ、今年度の3年生は、いつ最高学年としての自覚をもつことができるのだろうと不安に思っていました。

しかし、次のような文章を目にしたとき、3年生の着実な成長を実感することができました。

いろいろなことにあきらめそうになっている君に贈ります。「力足らざる者は中道にして廃す。今、女は画れり。」力の足りない者は、途中で力尽きてやめてしまうものです。今の君ははじめから見切りを付けてあきらめてしまっています。

僕は部活などで厳しい練習を重ねてきました。あきらめずに前だけを見ました。するとゴールは見えました。君もどんなこともあきらめなかつたら、きっとゴールは見えてきます。頑張ってください。

自分の言動のために失敗してしまったことがある人に「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」を伝えたいと思います。意味は、失敗したのに直さないことを本当の失敗と言うというものです。

私は、自分の言動で相手を傷付けてしまったことがあります。誤解されているのに直さず、同じような言動を繰り返したことで、自分が本当に伝えなかったことが、誰にも理解されなくなりました。一度目で気付く力、そして、直す力が大切だと思います。

これは、『論語』の一節を引用し、中学校生活について後輩へのアドバイスを「書く」という3年生の国語の授業における生徒の作品です。1、2階に掲示してありました。

例年実施している行事ができなくても、これまで当たり前に行っていた生活ができなくても、3年生はやはり最高学年としての顔になっていくのです。「立ちだかる壁を共有し、『今できること』を一つずつ実現すること」が、子供たちの成長につながると言われます。たくましく成長する生徒を、これからもずっと見守っていきたいと思います。



## 南部中学校のこの頃

### ○1学期末考査が行われました

7月15日（水）～17日（金）、1学期の学習の総まとめとして、期末考査が行われました。

1年生は、中学生になって初めての定期考査ということで、幾分緊張して臨んでいたようです。どの教室でも、答案用紙に真剣に向き合う生徒の姿がみられました。



<1年生の期末考査の様子>

### ○「第69回氷見市民体育大会・高岡地区氷見市中学校交流大会 兼 TOYAMA2020中学校スポーツ交流大会」が開催されました

ずいぶん長い名称ですが、これは、「中学校生活の中で長い時間をかけて頑張ってきた部活動での成果を発揮する場を失った3年生に活躍の場を」を目的とし、氷見市と氷見市教育委員会、氷見市体育協会、氷見市・高岡地区・富山県中体連が主催し、富山県教育委員会が共催して開催された大会です。

どの会場においても、のびのびと楽しそうに競技に取り組む生徒の姿がみられました。試合が終わった後は、すがすがしく笑う生徒もいれば、涙を流す生徒もいました。それぞれの生徒の胸中に様々な思いを残す大会となったようです。



### ○生徒会活動が活発に行われています

本年度の前期生徒会は、「南中スタイル ～今、ここにSHINKA（新化・進化・深化）あり～」のテーマの下、南部中学校の新しいかたちを創り上げるため、変化に柔軟に対応しながら、お互いの絆をより深められるようにしていきたいという目標を立てて活動に取り組んでいます。

7月、執行部は「学力UP大作戦」を展開していました。校舎のあちこちに手作りの期末考査予想問題が掲示され、生徒の目をひいていました。

また、7月8日発行の生徒会新聞「みなみ」第2号には、期末考査に向けての各教科の勉強法が紹介されていました。

保健委員会は、感染症予防のためのポスターを制作していました。

風紀委員会は、挨拶運動を実施しています。例年とは違い、間隔をあけて並んでいる様子が新鮮でした。



<生徒会掲示板>



<感染予防ポスター>

## 学校からのお知らせ

### ○夏季休業中の学校閉庁について

8月13日（木）～17日（月）は閉庁のため、学校に教職員は出勤していません。生徒の事故や病気、災害等、緊急に連絡する必要がある場合は、090-1315-0891にご連絡ください。

### ○運動会について

9月16日（水）午前中に開催します。本年度は、新型コロナウイルスによる感染症拡大防止のため、例年行っている綱引きやタイや引き等の競技は実施することができません。様々な面で規模を縮小しての開催となります。会場が密な状態になることを避けるため、保護者の皆様方には、ご来場の際は人数を絞るなどのご協力をお願いします。

### ○2学期以降の学校行事等について

- ・3年生の修学旅行、1、2年生の校外学習は、新型コロナウイルスによる感染症拡大リスクが高いことから、本年度は中止とします。なお、3年生の修学旅行につきましては、取扱料の支払いについて現在氷見市と協議中です。決定次第、積立金返金の作業に入ります。
- ・2学期の中間考査は、4月当初の計画から1週間ほど早め、10月6日（火）7日（水）の2日間で実施する予定です。